



黄金の森

2024年 10月 11日発行
南風原町立 南風原中学校
発行者 校長 比嘉智也
校長だより第12号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

思いやりの心と他者への共感力を持とう！

生徒の皆さん、10月も中旬となりました。3年生は修学旅行まで1ヵ月を切りました。島尻地区駅伝競走大会も今月末に行われます。夏休み明け、朝早くから練習に励んでいる皆さん、大会での健闘を期待しています。また、来週には今年度前半の各教科の評価が出る予定となっています。現段階での評価の結果を確認し、年度末までどんどん達成度を積み上げてください。

『自分さえ良ければいい人』の特徴とは？

「授業中に他の人のじゃまをする。」「先生の指示や説明を聞かない。」「自分勝手な行動や言い分を主張する。」そんな人(たち)が学級や学年の中にいませんか？

その人(たち)は、自分(たち)だけが楽しければいいと思い込んでいる残念な人(たち)なんです。自分本位でまわりを気にかけない人は、残念ながら社会生活を送る上で困難なことにぶつかる確率が高くなります。まわりへの配慮が欠けているため、人間関係をうまく築けなくなるからです。人と上手くつきあうには、まわりへの気遣いが欠かせません。ですから、皆さんには自分本位な行動をせず、まわりへの気遣いのできるようになって欲しいと願っています。



では、『自分さえ良ければいい人』が持つ特徴を挙げてみます。

① 他人への思いやりが足りない

自分さえ良ければいい人は、基本的に他人への思いやりの心が足りません。

自分の都合ばかりを優先させ、まわりの人の気持ちを考えようとしないのです。実際に、次のような思いやりのない言動をする人が多いのです。

- 人の話を最後まで聞かない
 - 人の気持ちを押し量ることができない
 - 自分の非(良くないところ)を認めようとしない
 - まわりの状況を気にかけることができない
 - 他者への配慮が欠けてる
- と、自分さえよければそれでいいと考えています。

「思いやりの心」は人間関係を築く上でかなり重要な要素です。しっかりと身に付けることが求められています。

② 利己的(自分の利益だけを追求する)で自分本位

『自分さえ良ければいい人』の最も大きな特徴が、利己的で自分本位であることです。

自分の利益や欲求を最優先させ、他人のことは二の次以下でしかありません。

- 自分の得になることしか考えていない
- 自分が損をするとすぐに問題点を切る
- まわりの迷惑は一切気にしない

このように、自分第一で物事を考え行動するため、人間関係がこじれがちになります。自分さえ良ければそれでよいという感覚が強いのです。人は一人では生きていけません。他者と協調し、win-win の関係を築くことが大切です。それができないと、孤立してしまう危険性があります。

③ 自分の欲求を満たすことしか考えていない

自分さえ良ければいい人は、自分の欲求を満たすことしか考えていません。

自分の欲しいものを手に入れること以外は二の次で、他に目は向きません。

○金銭的な欲求が強い ○食欲や物欲を気にかける ○名誉や地位に執着する

このように、功利的(効果や利益のみを重視する)な欲求に目がいつってしまうのです。



精神的な部分は二の次で、物質面での満足感を求める傾向が強いです。

人生には物質面だけでなく精神面でのケアも必要不可欠です。しかし、そこを無視してしまう危険性があります。欲求そのものは人間にとって自然なものですが、それ以外の部分を軽視してはいけません。バランスが大切です。

④ 共感力が低い

他者のことを考えない自分さえ良ければいい人は、当然ながら共感力が著しく低い傾向にあります。人の気持ちを思いやる力がないため、人と心を通わせることができません。

○人の立場に立って考えられない ○人の辛さや喜びを理解できない

○同情心がなく、冷淡である と、心を開いて人に寄り添うことをしない人が多いのです。

こころの中に共感がないため、人と人との心の通った関係を築けません。社会に適応し他者と協調していくには、相手の気持ちに共感できる能力が大切です。

この力がないと、人付き合いで孤立してしまうかもしれません。

⑤ 自分の行動が周りにどう映るか気にかけていない

まわりに与える影響を考えず、自分の行動を律することができない、自分さえ良ければいいというスタンスの特徴です。

○人に迷惑をかけても気にしない ○自分の非を棚に上げてしまう

○行動のマナーを守ろうとしない

自分の行動がまわりにどのような影響を及ぼすかについて、あまり考えようとしません。自分さえよければそれでよしとしてしまうのです。

しかし、人と共に暮らす以上、行動には気をつける必要があります。場面に応じたマナーを守り、他人へのダメージを最小限に抑えることが大切です。

人は世の中の一員ですから、常に配慮を怠ってはいけません。行動一つひとつが周囲に与える影響を考えることが必要となってきます。

このように、人と上手につきあうには、相手の立場に立って物事を考え、まわりへの気遣う気持ちをしっかりと持つ必要があります。良い人間関係を築くためにも、自分勝手な態度は改める必要があるでしょう。



生徒の皆さん、『自分さえ良ければいい』という考え方は、いいものではないことが理解できましたか。ですから、社会の中でまわりの人と協調できる人間性を身に付けていきましょう。

思いやりの心と他者への共感力を持つことが、人間関係を良好に保つための鍵となります。それが全ての人にとって、居心地のいい居場所づくりに繋がります。



校長クイズ

- 1 「オオオオオ」のように並んでいる食べ物は何か?
- 2 パーマをかけた人が食べる食材は何か?

前号クイズの解答

- 1 団子
- 2 胃腸